

機能強化計画の進捗状況(要約)

(別紙様式3)

1.15年4月から17年3月までの全体的な進捗状況

リレーションシップバンキングの意義と当金庫が果たすべく役割について、全役職員がそれぞれの立場で認識を新たにすることからスタートした。まず、体制面の整備、とりわけ研修体制の強化が必要であるとの認識から、当金庫独自で実践できるもの、業界団体・地区協会・各種機関等との連携によって実践していくものがあり、当金庫独自で実践できるもののうち、財務分析研修会を実施した外、対外研修にも参加し庫内研修に役立てた。全体的な進捗状況としては、研修の外、業界団体のとりまとめによるネットワークシステムである「ビジネスマッチングサービス」への参加、或いはホームページの開設等、体制面の整備への対応を図るとともに、ランクアップ等も行った。

2.16年10月から17年3月までの全体的な進捗状況

体制整備の一環として、対外研修並びに各種勉強会等を継続実施する等、引き続き機能強化に取り組んだ。

3.計画の達成状況

体制面の整備を図るとともに、ランクアップ等実態面でも一定の成果をみる事ができた。

4.計画の達成状況に対する分析・評価及び今後の課題

平成15年4月から平成17年3月までの「集中改善期間」における一定の成果を生かし、今後もリレーションシップバンキングの機能強化に努めて参りたい。

5.アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		15年度	16年度	15年4月～17年3月	(16年10月～17年3月)	
中小企業金融の再生に向けた取組み						
1.創業・新事業支援機能等の強化						
(1)業種別担当者の配置等融資審査態勢の強化	・企業再生支援講座 ・目利き力養成講座 ・融資審査能力養成講座	・業界団体の研修参加 ・財務分析研修開催	同左	・融資審査能力養成講座参加 ・財務分析研修会実施 ・目利き力養成講座参加(全信協) ・中小企業経営改善講座参加 ・中小企業経営支援業務研修参加 ・中小企業支援マニュアル勉強会参加 ・目利き力養成講座参加(地区協会) ・中小企業経営支援業務研修参加 ・地域振興支援セミナー参加 ・金融審議会地方懇談会参加	・中小企業経営支援業務研修参加 ・地域振興支援セミナー参加 ・金融審議会地方懇談会参加	
(3)産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。「産業クラスターサポート会議」への参画	・連携の有効活用を検討 ・会議への参加	・連携の検討 ・会議へ積極的参加	同左	・連携検討 ・大学発ベンチャーマッチング参加 ・九州産業クラスター金融支援セミナー参加 ・産業クラスターサポート金融会議「つなぎ融資制度」参加		
(4)ベンチャー企業向け業務に係る、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫等との情報共有、協調投資等連携強化	・ベンチャー企業業務の取組み ・政府系金融機関と連携強化	・ベンチャー企業業務情報入手 ・政府系金融機関と連携検討	同左	・連携検討 ・日本政策投資銀行情報連絡会参加 ・信金キャピタル情報連絡会参加	連携検討	
(5)中小企業支援センターの活用	中小企業支援センター、商工会議所と連携強化	支援センター、商工会議所、商工会と連携検討	同左	・連携検討 ・中小企業支援センター情報交換	中小企業支援センター情報交換	
2.取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化						
(1)経営情報やビジネス・マッチング情報を提供する仕組みの整備	・しんきんふれ愛ネットの取組み強化 ・「信友会」の充実化	・しんきんふれ愛ネットの活用 ・「信友会」の各種行事	同左	・「信友会」総会開催 ・しんきんふれ愛ネットに顧客を登録 ・しんきんふれ愛ネットの利用案内掲載(金庫情報誌にて) ・「信友会」での異業種交流会実施 ・「ビジネスマッチングサービス」ネットワーク(全信協)に参加 ・ビジネスマッチング情報収集(全信協)	ビジネスマッチング情報収集(全信協)	
(2)コンサルティング業務、M&A業務等の取引先企業への支援業務の取組み	「2(1)」に記載					

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		15年度	16年度	15年4月～17年3月	(16年10月～17年3月)	
(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表		別紙様式3-2、3-3及び3-4参照				
4. 新しい中小企業金融への取組みの強化						
(1) ローンレビューの徹底、財務制限条項やスコアリングモデルの活用等。第三者保証の利用のあり方	・キャッシュフロー重視の審査態勢 ・モニタリング態勢の強化	・審査能力養成講座参加 ・財務分析研修開催 ・モニタリングの実施	同左	・財務分析研修会実施 ・融資審査能力養成講座参加 ・目利き力養成講座参加(全信協) ・中小企業経営改善講座参加 ・目利き力養成講座参加(地区協会) ・中小企業支援マニュアル勉強会参加 ・中小企業経営支援実務研修参加	中小企業経営支援実務研修参加	
(5) 信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用	・個人事業者のデータ整備 ・審査業務の高度化 ・信用格付制度と資産査定(債務者区分)の整合性	データベースの整備	同左	・個人事業主信用格付システム説明会参加 ・信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベースへ参加 ・中小企業信用リスクデータベース勉強会参加	中小企業信用リスクデータベース勉強会参加	
5. 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化						
(1) 銀行法等に義務付けられた、貸付契約、保証契約の内容等重要事項に関する債務者への説明態勢の整備	・新信用金庫取引約定書の導入 ・庫内規則の整備 ・苦情処理機能の充実、強化 ・研修会への参加、開催	・新信用金庫取引約定書の検討 ・庫内規則の検討 ・苦情処理機能の検討 ・研修会への参加、開催	同左	・コンプライアンス研修会参加 ・意見、苦情の検討 ・コンプライアンス研修会実施 ・顧客への説明義務要領作成 ・「与信取引に関する顧客への説明態勢」の庫内研修開催 ・役員コンプライアンス勉強会実施 ・信金中金主催役員コンプライアンス勉強会参加 ・コンプライアンス研修会実施(役席者・一般職)	・役員コンプライアンス勉強会実施 ・信金中金主催役員コンプライアンス勉強会参加 ・コンプライアンス研修会実施(役席者・一般職)	
(2) 「地域金融円滑化会議」の設置・開催	会議事項を庫内研修	四半期毎に実施	同左	・地域金融円滑化会議出席 ・庫内研修開催	・地域金融円滑化会議出席 ・庫内研修開催	
(3) 相談・苦情処理体制の強化	・委員会での徹底 ・研修会への参加 ・しんきん相談センター、仲裁センターとの連携	・委員会の定例開催 ・研修会への参加	同左	・委員会の定例開催実施 ・「相談・苦情処理対応勉強会」に参加 ・委員会にて研修内容の徹底 ・委員会、責任者会議を定例開催し庫内研修実施 ・コンプライアンス研修会へ参加 ・信金中金主催コンプライアンス勉強会参加 ・コンプライアンス勉強会実施	・委員会、責任者会議を定例開催し庫内研修実施 ・信金中金主催コンプライアンス勉強会参加 ・コンプライアンス勉強会実施	
6. 進捗状況の公表	店頭掲示にて公表	15年度上期分を11月頃に公表	15年度下期分を8月末までに、16年度上期分を11月頃に公表	・「機能強化計画」を福岡財務支局長宛提出 ・「機能強化計画」を店頭に備置 ・15年上期の進捗状況を店頭及びホームページにて公表 ・15年下期の進捗状況を店頭及びホームページにて公表 ・16年度上期進捗状況をホームページにて公表	・16年度上期進捗状況をホームページにて公表	
各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み						
1. 資産査定、信用リスク管理の強化						
(1) 適切な自己査定及び償却・引当の実施	・自己査定事務説明会開催 ・財務分析研修開催 ・審査案件に債務者概況表を活用	・自己査定事務説明会開催 ・財務分析研修開催	同左	・財務分析研修会実施 ・自己査定研修会開催 ・自己査定実施 ・自己査定支援システム機能強化検討会参加	・自己査定研修会開催 ・自己査定実施	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		15年度	16年度	15年4月～17年3月	(16年10月～17年3月)	
(1) 担保評価方法の合理性、処分実績からみた評価精度に係る厳正な検証	不動産担保評価基準書の熟知	勉強会開催	勉強会開催	不動産担保評価基準書勉強会開催	不動産担保評価基準書勉強会開催	
(1) 金融再生法開示債権の保全状況の開示	資産査定規程・基準に基づく自己査定	・資産自己査定実施 ・金融再生法開示債権の保全状況確定 ・15年3月期のディスクロージャー誌にて開示	同左	・平成15年3月期ディスクロージャー誌に開示 ・平成16年3月期ディスクロージャー誌に開示		
2. 収益管理態勢の整備と収益力の向上						
(2) 信用リスクデータの蓄積、債務者区分と整合的な内部格付制度の構築、金利設定のための内部基準の整備等	・個人事業者のデータ整備 ・信用格付制度と資産査定(債務者区分)の整合性 ・適正貸出金利の設定	データベースの整備	同左	・個人事業主信用格付システム説明会参加 ・信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベースへ参加 ・中小企業信用リスクデータベース勉強会参加	中小企業信用リスクデータベース勉強会参加	
3. ガバナンスの強化						
(2) 半期開示の実施	開示項目の見直し	上期分を11月中にミニディスクロージャー誌で開示		・15年度上期分の半期開示を実施 ・16年度上期分の半期開示を実施	16年度上期分の半期開示実施	
(2) 外部監査の実施対象の拡大等	外部監査の継続実施	外部監査実施	同左	・平成14年度から実施 ・継続予定	継続実施	
(2) 総代の選考基準や選考手続きの透明化、会員・組合員の意見を反映させる仕組み等の整備	・総代等に関する事項の情報開示検討	公表項目・掲載方法の検討・確定	16年3月期ディスクロージャー誌に掲載	・公表項目検討 ・平成16年3月期ディスクロージャー誌にて選出方法、決議事項、名簿を開示		
(2) 中央機関が充実を図る個別金融機関に対する経営モニタリング機能等の活用方針	信金中金の経営コンサルタント	実地調査開始	実地調査結果の検証及び分析	・信金中金実地調査 ・信金中金実地調査報告会 ・信金中金実地調査結果に基づく情報交換会を予定 ・信金中金実地調査結果に基づく情報交換会を実施	信金中金実地調査結果に基づく情報交換会を実施	
4. 地域貢献に関する情報開示等						
(1) 地域貢献に関する情報開示	業界申し合わせ開示項目を参考	11月中に開示	16年3月期の法定ディスクロージャー誌で開示	情報開示を実施		

### 3. その他関連する取組み

項目	具体的な取組み	15年4月～17年3月	進捗状況(16年10月～17年3月)
・中小企業金融の再生に向けた取組み 1. 創業・新事業支援機能等の強化 (2) 企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成を目的とした研修の実施	・業界団体開催の目利き力養成講座に参加、研修結果に基づき内部研修会開催 ・財務分析研修会開催	・財務分析研修会実施(平成15年9月17日～18日) ・目利き力養成講座参加 ・中小企業経営改善講座参加 ・中小企業経営支援実務研修参加 ・地域振興支援セミナー参加 ・金融審議会地方懇談会参加	・中小企業経営支援実務研修参加 ・地域振興支援セミナー参加 ・金融審議会地方懇談会参加

(備考)別紙様式1による個別項目の計画数・・・22